平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年７月31日

上場会社名　エバラ食品工業株式会社　上場取引所　大
コード番号　2819　ＵＲＬ　http://www.ebarafoods.com
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）宮崎　遵
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役　（氏名）高井　孝佳　ＴＥＬ　045-314-0121
四半期報告書提出予定日　平成24年８月９日
配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	11,495	△8.7	262	△74.2	287	△72.9	108	△81.5
24年３月期第１四半期	12,591	5.1	1,019	89.2	1,059	71.3	582	97.4

（注）包括利益　25年３月期第１四半期　95百万円　（△84.0%）　24年３月期第１四半期　594百万円　（129.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	10.18	－
24年３月期第１四半期	54.91	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第１四半期	31,295	18,962	60.6	1,787.45
24年３月期	31,566	19,155	60.7	1,805.46

（参考）自己資本　25年３月期第１四半期　18,962百万円　24年３月期　19,155百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	27.00	27.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		0.00	－	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	25,807	△0.2	1,225	△29.6	1,214	△31.9	676	△30.7	63.72
通期	49,678	1.2	1,874	1.9	1,879	2.2	1,053	61.4	99.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規　－社　（社名）　　　　　　　　　　　、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：有

④　修正再表示　：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	12,398,400株	24年３月期	12,398,400株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	1,789,449株	24年３月期	1,788,848株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	10,609,373株	24年３月期１Ｑ	10,611,552株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）Ｐ．３「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかな景気回復の動きがあるものの、欧州政府債務危機や円高の長期化等から、依然として先行き不透明な経済情勢が続いております。食品業界におきましても、消費者の低価格志向や節約志向が継続する等、厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、エバラブランドの目指す姿である「新しいおいしさにより、そこに人が集い、笑顔が生まれる」の実現に向け、“たれ・素・スープ”を中心とした調味料でお客様との幅広い接点を持ち、家族の“絆づくり”やお客様のお役立ちを創造することをミッションとして経営を推進しております。本年４月にはフェイスブックに公式ファンページを立ち上げ、お客様とのコミュニケーションを促進するとともに、５月には楽天市場に通販サイト「エバラオンラインショップ」をオープンし、お客様とのコンタクトポイントの増加と新たな販路の開拓を図っております。

当第１四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、114億95百万円（前年同期比8.7％減）となりました。その主な要因としては、『具だくさん焼肉のたれ』が前年の発売時の伸びを欠いたこと、『浅漬けの素』の勢いに一服感が出たこと、及びチルド商品の取扱いを持分法適用会社に移管したことが挙げられます。利益面については、売上高の減少に加え、震災により販売促進活動を抑制した前年同期に対し広告宣伝費が増加した結果、営業利益は２億62百万円（前年同期比74.2％減）、経常利益は２億87百万円（前年同期比72.9％減）、四半期純利益は１億８百万円（前年同期比81.5％減）となりました。

事業におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

（食品事業）

家庭用商品は前年同期売上高を下回りました。

肉まわり調味料群については、牛肉消費停滞等の影響により『焼肉のたれ』『黄金の味』が前年同期実績に届かず、また、『具だくさん焼肉のたれ』も前年同期実績を下回りました。父の日のキャンペーンにより『おろしのたれ』が好調な売上げを見せたほか、販売促進活動として肉消費の底上げを図る施策を展開し、６月には業績が上向く傾向が見られていますが、第１四半期実績としては前年同期売上高を下回りました。鍋物調味料群は汎用性を訴求した『すき焼のたれ』が底堅く推移しましたが、『キムチ鍋の素』の競合環境が激化した影響等により、前年同期売上高を下回りました。野菜まわり調味料群も前年同期売上高を下回りましたが、『浅漬けの素』については、震災後に一時的に供給量を増やした前年同期実績には及ばないものの、前々期以上の水準を確保しております。その他群は「発売15周年ありがとうキャンペーン」を展開した『横濱舶来亭カレーフレーク』が好評を博しましたが、チルド商品の取扱いを持分法適用会社に移管した影響等により前年同期売上高を下回りました。

業務用商品につきましては、特注品の減少等が影響したその他群をはじめ、肉まわり調味料群及びスープ群も前年同期実績を下回った結果、前年同期売上高を下回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は101億28百万円（前年同期比10.6％減）となりました。

（その他事業）

その他事業につきましては、広告宣伝事業、物流事業及び人材派遣事業がいずれも前年同期実績を上回った結果、その他事業の売上高は13億67百万円（前年同期比8.2％増）となりました。

売上高の内訳は以下のとおりとなります。

事業名称及び商品群名			前第１四半期連結累計期間（百万円）	当第１四半期連結累計期間（百万円）	増減率（％）
食品事業			11,327	10,128	△10.6
	家庭用商品		9,138	8,040	△12.0
		肉まわり調味料群	5,444	4,962	△8.9
		鍋物調味料群	1,170	1,106	△5.4
		野菜まわり調味料群	1,865	1,623	△13.0
		その他群	657	348	△47.1
	業務用商品		2,188	2,087	△4.6
		肉まわり調味料群	688	668	△2.9
		スープ群	839	827	△1.5
		その他群	660	592	△10.4
その他事業（広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業）			1,264	1,367	8.2

（注）上記金額には消費税等は含まれておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し２億70百万円減少して312億95百万円となりました。これは主に、投資有価証券が１億36百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ78百万円減少して123億32百万円となりました。これは主に、賞与引当金が３億11百万円増加したものの、未払金が３億92百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、１億92百万円減少して189億62百万円となりました。これは主に、利益剰余金が１億78百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第１四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ15億66百万円減少し、45億５百万円となりました。

当第１四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、13億52百万円（前年同四半期は６億６百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益において２億61百万円獲得した一方、売上債権の増加13億９百万円による減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、１億91百万円（前年同四半期は２億４百万円の使用）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出６億円と、有価証券の償還による収入４億円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、25百万円（前年同四半期は22百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額２億74百万円と短期借入金純増加額２億50百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,328千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,763,209	5,267,165
受取手形及び売掛金	9,152,079	10,465,689
有価証券	700,112	850,155
商品及び製品	1,303,569	1,263,834
原材料及び貯蔵品	438,829	464,795
繰延税金資産	427,474	427,361
その他	552,138	556,436
貸倒引当金	△4,375	△4,507
流動資産合計	19,333,038	19,290,931
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,008,831	3,008,831
その他（純額）	5,167,244	5,106,135
有形固定資産合計	8,176,076	8,114,967
無形固定資産	349,325	337,400
投資その他の資産		
投資有価証券	1,994,026	1,858,000
長期貸付金	10,791	9,842
繰延税金資産	1,008,265	1,026,751
その他	751,500	714,131
貸倒引当金	△56,526	△56,526
投資その他の資産合計	3,708,057	3,552,199
固定資産合計	12,233,459	12,004,567
資産合計	31,566,497	31,295,499

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,063,419	5,968,290
短期借入金	166,404	416,601
未払金	1,419,476	1,027,412
未払法人税等	533,319	155,933
賞与引当金	270,941	582,485
販売促進引当金	485,714	464,347
その他	389,033	611,669
流動負債合計	9,328,309	9,226,741
固定負債		
退職給付引当金	2,842,615	2,865,767
資産除去債務	11,563	11,603
その他	228,867	228,460
固定負債合計	3,083,046	3,105,832
負債合計	12,411,356	12,332,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,136	1,387,136
資本剰余金	1,655,257	1,655,257
利益剰余金	17,866,080	17,687,658
自己株式	△1,860,411	△1,861,308
株主資本合計	19,048,061	18,868,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,277	90,367
為替換算調整勘定	△17,197	3,814
その他の包括利益累計額合計	107,079	94,182
純資産合計	19,155,141	18,962,925
負債純資産合計	31,566,497	31,295,499

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	12,591,446	11,495,769
売上原価	6,277,379	5,819,359
売上総利益	6,314,067	5,676,410
販売費及び一般管理費	5,294,870	5,413,678
営業利益	1,019,196	262,732
営業外収益		
受取利息	6,999	2,807
受取配当金	15,853	17,337
受取賃貸料	9,087	4,965
保険解約返戻金	5,449	22,893
その他	4,361	10,766
営業外収益合計	41,750	58,770
営業外費用		
支払利息	844	834
為替差損	27	－
持分法による投資損失	－	33,175
その他	784	－
営業外費用合計	1,656	34,009
経常利益	1,059,290	287,492
特別利益		
固定資産売却益	722	－
災害損失引当金戻入額	11,838	－
特別利益合計	12,561	－
特別損失		
固定資産除却損	1,712	22,672
投資有価証券評価損	9,066	3,447
特別損失合計	10,778	26,120
税金等調整前四半期純利益	1,061,073	261,372
法人税等	478,422	153,336
少数株主損益調整前四半期純利益	582,650	108,035
四半期純利益	582,650	108,035

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	582,650	108,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,863	△33,909
為替換算調整勘定	6,294	21,012
その他の包括利益合計	12,158	△12,897
四半期包括利益	594,808	95,138
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	594,808	95,138
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,061,073	261,372
減価償却費	281,345	260,012
固定資産除却損	1,712	22,672
固定資産売却損益（△は益）	△722	－
投資有価証券評価損益（△は益）	9,066	3,447
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△170	131
退職給付引当金の増減額（△は減少）	73,247	23,152
賞与引当金の増減額（△は減少）	331,853	311,543
販売促進引当金の増減額（△は減少）	△16,074	△21,367
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△52,004	－
受取利息及び受取配当金	△22,853	△20,144
支払利息	844	834
為替差損益（△は益）	－	△2,256
持分法による投資損益（△は益）	－	33,175
売上債権の増減額（△は増加）	△278,595	△1,309,040
たな卸資産の増減額（△は増加）	△584,263	15,790
仕入債務の増減額（△は減少）	560,709	△96,104
未払消費税等の増減額（△は減少）	△57,015	23,527
長期未払金の増減額（△は減少）	△6,720	－
未払金の増減額（△は減少）	△148,958	△450,496
その他	△5,054	92,995
小計	1,147,419	△850,754
利息及び配当金の受取額	21,585	21,129
利息の支払額	△844	△834
法人税等の支払額	△561,285	△521,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	606,874	△1,352,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	1,813	2,083
定期預金の払戻による収入	－	136,000
定期預金の預入による支出	△6,000	△106,000
投資有価証券の取得による支出	△2,359	△2,475
有価証券の償還による収入	800,000	400,000
有価証券の取得による支出	△499,770	△600,000
関係会社株式の取得による支出	△250,000	－
有形固定資産の売却による収入	938	－
有形固定資産の取得による支出	△252,765	△31,939
無形固定資産の取得による支出	△11,499	△25,632
その他	15,470	36,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,171	△191,035

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	250,197	250,197
配当金の支払額	△272,935	△274,889
自己株式の取得による支出	－	△896
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,738	△25,589
現金及び現金同等物に係る換算差額	662	2,961
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	380,627	△1,566,001
現金及び現金同等物の期首残高	5,935,101	6,071,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,315,728	4,505,372

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
１．報告セグメントの概要
当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。
当社グループは食品事業を主な業務としており、「食品事業」を報告セグメントとしております。
「食品事業」は肉まわり調味料、鍋物調味料、野菜まわり調味料、スープ等の製造及び販売事業をしております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注）	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	11,327,097	1,264,348	12,591,446
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	11,327,097	1,264,348	12,591,446
セグメント利益	1,080,897	27,945	1,108,843

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）
（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,080,897
「その他」の区分の利益	27,945
全社費用（注）	△89,646
四半期連結損益計算書の営業利益	1,019,196

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは食品事業を主な業務としており、「食品事業」を報告セグメントとしております。

「食品事業」は肉まわり調味料、鍋物調味料、野菜まわり調味料、スープ等の製造及び販売事業をしております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	10,128,038	1,367,731	11,495,769
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	10,128,038	1,367,731	11,495,769
セグメント利益	352,789	17,223	370,013

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	352,789
「その他」の区分の利益	17,223
全社費用（注）	△107,280
四半期連結損益計算書の営業利益	262,732

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。